### 令和 2 年度 大阪府立豊中支援学校 第 2 回学校運営協議会記録

- 1、日時:令和2年10月5日(月)10:30~11:30
- 2、場所:大阪府立豊中支援学校 校長室
- 3、報告の記録
  - (1)校長あいさつ

# (2)第1回(書面協議)でいただいた質問事項について

○児童生徒数の増加とホームルーム教室不足について

今年度は小学部 1 年生が 38 名在籍し、6 クラス展開している。中学部、高等部の生徒数に大きな変化はない。これまでも特別教室をホームルーム教室に転用しながら対応してきたが、これ以上は大きな工事が必要となり、大変厳しい状況である。各クラスに在籍する児童生徒数を増やすことでも対応しているが、限界にきている。

### ○新学習指導要領に対する取組み

現在、高等部のコース制の見直しとシラバスの作成を行っている。また、今年度から先行して外国語の授業を設定して展開している。

○キャリア教育に対する取組み

本校のキャリア教育の観点を指導案、個別の指導計画の年間目標に略語を記入して反映させている。また、観点表の保護者周知も行った。

# (3)新型コロナウイルス感染予防対策について

『豊中支援学校版 新しい生活様式』(第 3 版)での学校生活での感染症対策、授業での配慮事項などの取り組みのうち、給食時の対応を報告した。給食開始当初は食缶の受け取り、配膳、下膳、返却まで教員が全て対応していたが、9 月半ばより、児童生徒の食缶の受け取りを認めたり、教員が再配膳することでおかわりを認めたりする緩和の方向で対応を移行している。また、児童生徒の下校後にはクリーンタイムを設定し、全教職員で校舎の清掃活動を行っている。また、児童生徒の下校後にはクリーンタイムを設定し、全教職員で校舎の清掃活動を行っている。また、校長より学校再開支援事業の予算配当の支出用途(網戸、スポットクーラー、大型テレビ等)及び進捗状況の報告、各学部 1 名ずつ配置した SSS(スクールサポートスタッフ)の活動内容等の感染症対策について報告した。

#### (4)学校教育自己診断について

昨年度の診断項目と比較しながら、今年度の調整箇所を報告した。保護者向けの診断項目では、例年高い評点をいただいている『通学バス』の項目は削除することとした。また、類似項目を併せるなど項目の精選を行っている。昨年度からスタートした生徒向けの学校生活アンケートにおいても府の留意事項に沿った見直しを行い、生徒が回答しやすい設問数に調整しながら実施を進めていくことを報告した。

# (5)エルモ社と連携した授業実践報告

エルモ社と制作中の導入事例広報誌「Field」(案)を資料に電子黒板の活用を報告した。

### (6)委託作業の実践報告

箕面市みのお市民活動センター広報誌「Kirari」Vol.6 を資料に実践を報告した。

#### (7)質疑応答、ご意見

# ○感染予防対策で登校を控えている児童生徒の推移と、校外行事への参加について

感染の不安で長期的に登校を控えている児童生徒数の推移と、学校への登校はできていても、校外行事では感染の不安やリスク回避として参加を控える児童生徒も認められ、ご家庭の想いも尊重しながら対応していることを回答した。

### ○感染の不安を理由に登校を控えている児童生徒は、具体的にどのような理由か

学校という集団生活は、感染リスクが高いと不安に感じられているご家庭や、基礎疾患があり、重篤化することを危惧されていることが大きな理由である。長期的に欠席が続いているご家庭とオンラインで連絡ができる体制を整備している段階であることを回答した。

### ○今後の感染拡大に向けた学校体制や学習整備の備えと設備問題について

児童生徒や保護者にとって、「学校に行く」ということが生活のリズムに繋がるので、今後の感染拡大を見据えて学校体制を整えるためにも、設備問題へのアプローチが不可欠である。また、地域の学校でICT機器の整備が早急に整うなかで、本校の対応(動画配信)が適当であったか疑問に感じるところもある。もっと日々の取り組みから地域への発信力を高めて、関連する市町村との連携を高める必要性があるとのご意見をいただいた。

# ○委託作業の取り組みについて

現在の取り組み(リサイクルクラフトの素材制作)は3月ごろのワークショップで活用できればと考えている。ワークショップのみならず、プラスチック問題、環境教育という視点で授業などでも継続的に展開できればとのお話をいただいた。

### ○過密の状況、教室整備について

学校行事が中止や縮小となるなか、こんな状況だからこそ教室での学びが重要である。子 どもたちにとって、より安全・安心に学校の楽しさ、学校でのより良い学びを提供するために も、学校として具体的なプランを持って、予算の確保、状況の改善に向けたアプローチを強く 進めていってほしいとご意見いただいた。

### 4、諸連絡